



発行所  
株式会社 有明新報社  
〒836 大牟田市有明町1-1-17  
-8512 電話(0944)52-1212(代)  
FAX52-1215(編集部)  
FAX51-9332(広告・経務)  
郵便振替 01730-1-19354  
月額購読料 2,400円 1部100円  
郵送購読料 3,100円

広告のお申し込みは  
☎52-1212へ  
購読のお申し込みは  
ハローサービスセンター有明  
☎52-1214へ  
柳川総局 ☎73-5037  
大川専売店 ☎88-2334

胃ガン・大腸ガンご相談  
**こひ胃腸科**  
大牟田駅前 ☎55-2556

リフレス  
おおむた

# オープン記念に6000人



リフレスおおむたのオープンを記念して行われたテープカット

リフレスおおむたは、敷地面積一・九畝に体育館や宿泊施設、学習施設などからなる本館と、パンガロー、炊事棟、トイレ、ログハウス、テントサイトなど屋外施設がある。総事業費十億八千五百万円を投じて建設された。

三日はオープン記念式典があり、栗原孝市長、山本進一教育委員長、桑畑貢市議会議長、九州通産局長(代理)、福岡県知事(代理)、大石駿四郎南関町長の六人がテープカットしたあと、栗原市長や来賓らが施設の開館を祝ってあいさつ。浦所長の案内で施設見

学を行った。さらに祝賀会があり古賀誠衆議院議員(代理)、高岡新県議、金子恵美子市議会教育民生委員長が来賓あいさつ。松尾敬次上内校区公民館連協会長が乾杯の音頭、最後に桑原隆善四箇開発委員長が万歳三唱した。

## クライミング、竹細工、陶芸挑戦など多彩行事

記念イベントでは、市内二十四小学校の児童四十九人が「われらリフレス探検隊」としてキャンプを行った。

大牟田市では初めてのキャンパス場を備えた多目的活動施設「リフレスおおむた」(浦康之所長)のオープン記念式典と行事が三、四の両日にわたって同市四ヶの同施設で行われ、あわせて六千人が来場してにぎわった。

## 児童が体験キャンプ

### 大牟田 市四ヶにぎわいのスタート

だくさんのイベントがあった。また地元の上内小児童による合唱と群読、橋中学校生徒によるブラスバンド演奏もあり、来場者を楽しませた。

このほか玄関ロビーには地元の川に生息するフナやタナゴ、ゲンゴロウ、イモリなどが展示され、子どもたちや親子づれでにぎわっていた。また玄関前ではスイカ割りもあり、チビツ子らが歓声をあげて楽しんでいった。

リフレスによると、来場者は三日が千人、四日は五千人。「天気にも恵まれ、予想以上の多くの人に来ていただきました」と浦所長は話していた。